

いこいの家通信

こども杜 いこいの家

静岡市葵区城東町二四番一号 電話二四九・三一九〇

令和8年11月1日
No. 531

お母さんの詩

「たからものの毎日」 Rさん(5歳)のお母さん



コロナ禍の寒い時期、陣痛中もマスク着用、立ち会いも面会も許されず今振り返ると孤独な出産だったと思います。ですが、産まれてきた娘は大きな声で泣く元気な子。最初こそ保育器で過ごしましたが、退院後は順調に育ってくれていました。

最初に少しのんびりかな?と感じたのは生後10ヶ月。同じ頃に産まれた子はお座りもハイハイも上手!早い子はおしゃべりもはじまっているなか、我が子はお座りはグラグラで高速ズリバイを極め。初めての子育てで周りと比べてしまう時期でもあり、ネットで検索をしては心配になったり、マイペースなだけ!と目を背けたり感情がコロコロ変化する時期を過ごしました。同時に成長を近くで見守りたいと育児を3年に延長。やれることはなんでもやろうと童謡のCDをかけ流し、体操教室やリトミックにも足を運びました。その成果もあつてか少しずつ成長を見せてくれるようになり1歳5ヶ月のとき絵本「じゃあじ

やあビリビリ」の踏切のページで「カンカンカン」と言いました。嬉しくて何度もそのページを開きました。また1歳7ヶ月には前日まで立つこともできなかつたのにつかまり立ちからそーっと手を離してヨチヨチ歩き!次の日からは絵本を両手で開き二宮金次郎のように自主練に励む姿を見て今までの心配はなんだったの?となったのも今ではない思い出です。でも純粋に喜べたのは束の間、今度はいつでもどこでも猛ダッシュ!蝶々の羽のハーネスをつけて追いかけて回す日々になりました。同じ頃小児科で親子教室の案内を見つけ勇気を出して電話をかけました。これがいこいの家との出会いです。初めて参加した日は「うちの子が一番走り回ってない?」と冷や汗をかいていましたが、ありのままのRを受け入れてくれる先生方の姿に少し肩の力を抜くことができました。

いこいの家への入園が決まり幼稚園と並行通園をすることにしました。幼稚園は障害のある子も受け入れていると言っていたのに実際はお昼ごはんの前に帰されてしまったり、別室で時間を潰すように過ごすことも多々。Rも幼稚園につくなり大号泣するようになってしまい安心して過ごせるところに通うのが一番だと夏休み前に退園を決意。夕方

の忙しい時間に泣きながらいこいさんに電話をかけ担任の先生にお話をきいてもらったこと、今でも本当に感謝しています。毎日駆け足で教室に向かう娘を追いかけてはあの時の選択は間違ってたなかつたと感じています。

いつかは周りの子に追いつくかもしれない!そんな風に一喜一憂することもあるRを受け入れ小さな成長に喜ぶ毎日です。もう少しで小学生。正直に言っても悩んで決めた進路。この道もまた間違いないと信じ前を向いて歩んでいきます。いつかいこいさんに遊びに行った時に「Rちゃん成長したね!」と言ってもらえるように頑張ろうね。ここですべての出会いが私たち親子にとって宝物です。本当にありがとうございました。





10月2日（金）に秋の遠足で日本平動物園に行ってきました。今年は長雨が続き、天候が心配されましたが、当日はさわやかな秋風が心地よい、絶好の遠足日和になりました。

園内では、本物の動物を間近で見たり、青空の下でお弁当を食べたり、楽しい思い出がまた1つ増えましたね。



スタンプラリーも楽しい！



動物さんみ〜つけた！



ぞうさんにのったよ〜



ママ！遠足たのしいね♡



あざらしさん、きた！



あざらしさん、こないかな〜



トカゲさんとらめっこ



トラさん大きいな〜



ペンギンさんかわいい！



次は何を観に行こうかな？



ミーアキャットって
かわいいね！



お弁当おいしいよ！



保護者研修会 移行支援

いこいの家では、保護者研修として、いこいの家からこども園や幼稚園・保育園、小学校へ、その先の小学校から中学校へ、など生活のステージが変わっていく時にスムーズに移行できるように、移行支援説明会を開催し、進路選択などに必要な情報提供を行っています。

令和8年度は①こども園・幼稚園等について（7月）②就学等について（8月）③放課後等デイサービス等について（9月）の計3回実施しました。

①来年度以降の進路としてこども園や保育園、幼稚園への移行や、並行通園を考えている保護者の方を対象に、各園の入園受付が始まる前に、それぞれの入園手続き、公立こども園の保育士の加配、私立園での職員配置の様子等について、いこいの家施設長より説明を行いました。実際に並行利用をされている保護者の方の体験やご意見をいただき、お子さんの成長にとってどのような選択がよいか等、和やかな雰囲気の中で様々な話をすることができました。



②年中、年少児の保護者を対象に、今年度も引き続き、静岡市教育委員会特別支援教育センターの西澤先生に講師をお願いして、就学先決定までの大まかな流れ（教育相談や専門調査な等）と、特別支援学校や特別支援学級、通級教室等について説明していただきました。パワーポイントで実際の教材など具体的に説明していただき、質疑応答の時間も設けていただきました。保護者の方からは、就学について何をしていけばいいのかわからない中、これからの流れを聞いたことで、先が見えて安心しました。等の感想をいただきました。

③相談支援専門員より、年長・年中児の保護者を対象に、就学後に利用できる放課後等デイサービスについての説明を行いました。事前にいただいたアンケートに答える形で進めていきました。市内には170箇所以上の事業所があり、活動内容や特徴も様々なので、情報収集も大変です。いつ頃から放デイを探し始めればよいか、放デイを決めるポイントについて等、質問にお答えし、見学や体験等を通して、お子さんや家族のニーズに合うところを探していきましょう、とお伝えしました。また、サービス利用の手続きや、利用料金、通所支援以外の障害福祉サービス（ショートステイ、ヘルパー支援等）についても紹介しました。

今後も移行先の園や学校、児発・放デイ事業所等とは、お子さんを真ん中にして、ご家族・支援者が情報を共有し連携して支援に取り組んでいきたいと思っております。

